

よりよい広報を目指して ～人権の視点から考える～

人権のひろば～人権・同和教育シリーズ～



私たちは、テレビ、ラジオや雑誌などから発信される多様な情報に囲まれて生活しており、意識をしないでなくても大きな影響を受けています。

とりわけインターネットや携帯電話などが世代を問わず広く普及する今、メディアの本質を理解し、適切に利用する能力「メディア・リテラシー」の重要性が高まっています。

【広報が与える影響】

行政が使う言葉や表現は社会的な基準とみなされがちです。月2回全戸配布している「広報よっかいち」は、たくさんの人に読まれるため、特に人権に配慮して作成しています。

例えば、原稿を作成するときには、職業や地位についての表記を男女のどちらにもあてはまるようにしています。また、イラストや写真を使用するときは、服や持ち物で性別や年齢を固定しないようにするなど、読んだ人が固定観念にとらわれないような紙面づくりをしています。

イラストや言葉などの表現は、長い間に積み重なって、人々の意識に影響を与えていきます。

今後も「広報よっかいち」では、人権について考える機会を持つ記事を掲載するとともに、企画・制作段階から、多様な受け手を意識し、違

和感、疎外感を感じさせない、共感を得られるような表現を心がけていきますので、ご愛読いただきますようお願いいたします。



■問い合わせ先
広報広聴課
(☎354-8244 FAX354-3974)

表紙こぼれ話

今回は、第66回全日本体操競技団体・種目別選手権大会（11月2日～4日開催）で団体6位に入賞した相好体操クラブの小泉さんに、鉄棒F難度「コールマン」の演技で表紙を飾っていただきました。



小泉選手 浅田監督 佐藤選手

今年度の表紙のテーマは、「スポーツで頑張る市民」です。全12回さまざまな種目のスポーツに打ち込む人々をご紹介します。

- 浅田監督 団体6位に入賞でき、来春行われ、個人日本一を決める全日本体操競技選手権大会に、クラブから一枠確保することができました。来年3月の体操教室には、体操が得意な子はさらに上手に、苦手な子は少しでも克服できるよう、一緒に楽しく体を動かせたらいいと思っています。
- 小泉選手 ダイナミックな離れ技が男子体操の花と言われる鉄棒種目を得意としています。毎年国内で12人選抜される日本代表ナショナルチームに入り、世界大会で活躍することを目標に日々練習に励んでいます。
- 佐藤選手 力技が見せ所のつり輪種目を得意としています。体操はその字の通り、自らの体を思い通りの姿に操れることが魅力です。ナショナルチームに入り、日本のトップレベルに食い込んでいきたいです。



取材後記

取材中は目の前で、大迫力の技を何度も見せていただきました。練習中の力強い姿と険しい顔、インタビューの際のやさしい笑顔に、選手の皆さんの虜（とりこ）になってしまいました。これからも皆さんを応援しています！

■問い合わせ先
広報広聴課
(☎354-8244 FAX354-3974)

広報よっかいち11月下旬号4ページでお知らせした、浅田監督などを指導者としてお招きし、12月16日に開催を予定していた「体操教室」は、衆議院議員総選挙の日程と重なったため、平成25年3月10日(日)に延期します。詳しくは、改めて広報よっかいちでお知らせします。

有料広告掲載欄

高齢者専門宅配弁当

宅配123

C O O K ワン・ツウ・スリー

お弁当お届け時に安否の確認も行なっております。

すこやかな食生活のお手伝い

美味しく栄養バランスのとれたお弁当で
いつまでも健康に暮らしましょう!!

株式会社 ケア・プラザ三重
四日市店 510-0064四日市市新正4丁目15-10
TEL 059-354-1165

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■人口 314,009人 [10月末日現在(-567)] ■火災件数 9件 [10月分(+1)] ■交通事故件数 1,035件 [10月分(+70)] (前年比)